

議員からの 質疑意見



決算の審査における議員からの主な質疑・意見は次のとおりです。

環境

*ごみステーション整備推進事業

Q 市街地におけるステーション収集と戸別収集に対する不公平感を是正するため、戸別収集に係るごみ袋の料金を値上げするなど、差別化を図るべきではないか。

A 本年7月から、ステーション収集と戸別収集の不公平感を是正するため、戸別収集が多い市街地については、可能な限り早くステーション化できるよう取り組んでいる。また、ステーションまでの距離がある山間部においても、ステーションの数を増やすことで、均衡が図られるよう取り組んでいるところである。現段階では、ごみ袋の料金のあり方について回答することはできない。

福祉

*第3子以降出産祝い金事業

Q 本事業は、平成27年度から29年度までの3カ年の事業となっているが、出生率の向上につながる素晴らしい制度なので、今後も継続してほしい。

A この事業が出生率に直接影響しているかどうかの検証は難しい。継続の可否について内部で協議するが、限定的な事業であり、財源としていても、夢基金の状況からみても、現実的に厳しいと考えている。

産業

*農業施設整備事業

農道や水路の整備については、地元からの要望は多いが、現時点で対応できていないものが20件もある。市が実施する事務事業評価でも本事業については拡充すべきとの結果になっていることから、さらに予算を獲得し、地元の要望に応えられるように努めてほしいとの意見がありました。



都市整備

*バス停維持管理事業

Q 高速道路大村インターチェンジバス停のトイレや待合所について利用者から「使いにくい」「狭い」といった意見があるが改善できないか。

A トイレについては、市が設置しているため、平成28年度に壁の修繕やバリアフリー化を行った。待合所については、NEXCO西日本の管理物であるため、同社に対し利用者の意見を伝え、協議をしていきたい。

教育

*安心・快適な学習環境整備事業

Q 小・中学校の特別教室への扇風機と、図書室へのエアコンの設置実績を尋ねる。

A 扇風機については、小学校58・中学校52の特別教室に設置した。エアコンについては、既に設置している鈴田小学校と東大村小学校を除く19の小・中学校の図書室に設置した。

この事業に関連し、「一般質問でも提案されていたが、全学校、全教室にエアコンを設置してほしい」との意見が

その他

*更生保護活動推進事業

Q 大村地区更生保護女性会は、組織の高齢化が進み、担い手の確保も困難な中、物品販売により活動資金を捻出している。このようなボランティア団体が正常に活動できるよう、市は必要な活動費に対し助成すべきではないか。

A 更生保護関係は、非常に重要な活動をボランティアにより行っていたらいい。早急に実態を確認し、市が負担できる部分については、予算を確保したい。



ありました。